

県民公開講座のご案内

フーフー言った、 夫婦のがん闘病

テーマ* 家族が「がん」になったとき

日本では1年間で80万人以上の方が「がん」と診断され、約35万人が「がん」で亡くなっています。あなたの大切な家族が「がん」になったとき、どうしますか？ 家族は患者さんを含めて“ひとつのまとまり”です。愛する家族の一人が「がん」になったとき、家族一丸となって「がん」と向き合うことが求められます。今回の県民公開講座では、話題の映画「夫婦フーフー日記」の原作者 清水浩司さんをお迎えし、がん患者家族の経験を共有します。

平成27年

6月13日[土]

入場
無料

佐賀大学医学部附属病院
臨床講堂（臨床大講堂）

開場 12:30～ 開演 13:00～（終了予定 15:15）

開会・挨拶 がんセンター長 木村 晋也 13:00～13:05

第1部 13:05～14:05

「フーフー言った、夫婦のがん闘病」

講師 清水 浩司さん（聞き手：古賀 真美さん）

休憩 14:05～14:15

第2部 14:15～14:45

映画「夫婦フーフー日記」予告特番上映

会場からの質問コーナー 14:45～15:15

総司会 古賀 真美さん

◎お問い合わせ・申込先

佐賀大学医学部附属病院 相談支援センター
〒849-8501 佐賀市鍋島五丁目1番1号
TEL.0952-34-3113 FAX.0952-34-2071

後援：九州がんプロ養成基盤推進プラン



清水 浩司（講師）

大学卒業後、雑誌編集者を経てフリーランスのライター／編集者として活動する。2011年に「川崎フーフー」名義で発表した闘病ドキュメント『がんフーフー日記』（小学館）が反響を呼び、映画『夫婦フーフー日記』として5月30日に公開される予定である。2011年以降は拠点を広島に移し、ラジオのパーソナリティなど多岐にわたって活躍している。

古賀 真美（総司会・聞き手）

2002年に急性リンパ性白血病を発症した弟のドナーとして造血幹細胞（骨髄）を提供。白血病闘病記録&血縁ドナー体験記録をホームページで公開後、メールや電話での相談支援をはじめ。現在はNPO法人がんネットジャパンのプロジェクトマネージャーとして、がん医療セミナー等プログラムの企画運営を行っている。



県民公開講座のご案内



フーフー言った、 夫婦のがん闘病

テーマ*家族が「がん」になったとき



平成27年

6月13日[土]

佐賀大学医学部附属病院 臨床講堂(臨床大講堂)
開場 12:30～ 開演 13:00～(終了予定 15:15)

佐賀大学医学部附属病院 相談支援センター行 FAX 0952-34-2071

お名前 もしくは 団体名	ふりがな
団体の 代表者名	ふりがな
	参加人数 人
ご住所	ふりがな
	〒
連絡先	※必ず連絡が取れる連絡先をひとつは記入ください。
	電話番号 FAX
	Eメール

※頂いた個人情報は、県民公開講座の連絡のみに使用させていただきます。

お尋ねになりたいことがございましたら下記スペースにご記入ください。

佐賀大学医学部附属病院 相談支援センター (地域医療連携室)

〒849-8501 佐賀市鍋島五丁目1番1号 TEL 0952 (34) 3113 FAX 0952 (34) 2071